

高齢者施設で新型コロナワクチン接種が始まりました

川崎市では高齢者施設を対象に嘱託医等の協力によって巡回接種がスタートしました。ワクチン接種は、任意接種です。予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、接種を受ける方の同意がある場合に限り接種が行われます。

施設では、入所者や家族への説明、接種希望者の接種券や予診票の集約、当日の介助や接種後の経過観察などの対応をお願いします。

<ワクチンについての情報>

- * 「川崎市新型コロナウイルス感染症に係る予防接種実施計画の策定について」 令和3年3月31日 川崎市ホームページ
- * 「高齢者施設における新型コロナウイルスワクチン接種について【全体概要】」 令和3年1月25日 厚生労働省
- * 「新型コロナワクチンについて」 厚生労働省ホームページ

Q: 過去に感染していてもワクチン接種は可能ですか？

A: 既に新型コロナウイルスに感染した人もワクチン接種は可能です。ただし、**接種まで一定の期間をおく必要がある場合があります、接種時期について、嘱託医や主治医にご確認ください。**
 なお、感染したかどうかを接種前に検査で確認する必要はありません。

※ モノクローナル抗体または回復期血漿での治療を受けた場合は、治療から少なくとも90日以降の接種が勧められます。

(厚生労働省新型コロナワクチンQ&Aより)

Q: 一度感染したら、どれくらいの期間かかりにくいのか？

A: これまでの報告から、**最初の感染から少なくとも90日くらいは再感染が起こりにくい**とされています。

新型コロナウイルスに再感染した症例も報告されていることから、WHOでは過去に感染した人への予防接種を推奨しています



ワクチンを受けた後も感染予防対策の継続を！

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、他の人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。今後どのような変異ウイルスが流行してくるのかも不明です。



ワクチン接種後、すぐに現れる可能性のある症状

	発症時期	症状
血管迷走神経反射	接種直後から	徐脈、血圧低下
アナフィラキシー	接種数分後から	頻脈、血圧低下 皮膚症状（膨疹、丘疹）

- ◆ 接種後の観察
 15分以上は背もたれのある椅子やベッドで休んでいただき、過去に重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、採血などで気分が悪くなった方はベッドで30分は安静にして観察をしましょう。

接種後、数日以内に現れる可能性のある症状

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10-50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1-10%	吐き気、嘔吐

ファイザー社のワクチン添付文章より改編

- 接種直後よりも翌日に痛みを感じている方が多いようです。
- これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
- 疲労や関節痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。

* 気になる症状が現れた方は、嘱託医や主治医に相談してください。

参考資料：新型コロナワクチン接種のお知らせ 厚生労働省